



## 平成30年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年7月5日

上場会社名 キューピー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2809 URL <http://www.kewpie.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 長南 収  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営推進本部長 (氏名) 篠原 真人 TEL 03-3486-3331  
 四半期報告書提出予定日 平成30年7月13日 配当支払開始予定日 平成30年8月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成30年11月期第2四半期の連結業績（平成29年12月1日～平成30年5月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年11月期第2四半期	285,004	2.8	15,961	7.9	16,543	8.5	9,070	12.7
29年11月期第2四半期	277,186	1.4	14,791	4.4	15,246	3.1	8,047	△1.6

（注）包括利益 30年11月期第2四半期 11,001百万円（△24.5%） 29年11月期第2四半期 14,574百万円（73.3%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年11月期第2四半期	61.69	—
29年11月期第2四半期	53.69	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年11月期第2四半期	428,561	271,294	54.4
29年11月期	419,207	263,432	54.0

（参考）自己資本 30年11月期第2四半期 233,036百万円 29年11月期 226,439百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年11月期	—	18.00	—	18.50	36.50
30年11月期	—	19.00	—	—	—
30年11月期（予想）	—	—	—	19.00	38.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年11月期の連結業績予想（平成29年12月1日～平成30年11月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	580,000	3.3	33,500	7.2	34,600	6.4	18,600	2.8	126.49

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
 新規 1社（社名）丘比（中国）有限公司、除外 1社（社名）  
 （注）詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年11月期2Q	150,000,000 株	29年11月期	150,000,000 株
② 期末自己株式数	30年11月期2Q	2,956,215 株	29年11月期	2,955,521 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年11月期2Q	147,044,101 株	29年11月期2Q	149,879,862 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11
(1) 売上高・営業利益の状況と営業利益の増減要因	11
(2) 設備投資と主要な販売費・一般管理費	13
(3) 国内におけるサラダ調味料の業態別販売量および金額（キユーピー株式会社）	13
(4) 海外展開 売上高・営業利益の状況	14
(5) 営業外・特別損益の主な増減内容	14
(6) 貸借対照表の概要、増減内容	15
(7) キャッシュ・フローの主な増減内容	15
(8) 主要な経営指標等の推移	16

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ◇ 当社グループ（当社および連結子会社）の状況

平成28年度からの3年間を対象とする中期経営計画では、グループの新たな挑戦で飛躍的成長を実現させるべく、「ユニークさの発揮と創造」を軸にした4つの経営方針（経営基盤の強化、コスト競争力の強化、付加価値の創造、新領域への挑戦）にグループが連携して取り組み、企業価値の一層の向上に努めております。

## ・売上高

国内の鶏卵相場の下落の影響を受けましたが、中食市場向けのカット野菜や惣菜が好調に推移したことにより、2,850億4百万円と前年同期に比べ78億18百万円（2.8%）の増収となりました。

## ・利益

労務費などのコスト増加の影響を受けましたが、米国の乾燥卵相場の上昇や付加価値品の伸張などが進み、営業利益は159億61百万円と前年同期に比べ11億70百万円（7.9%）、経常利益は165億43百万円と前年同期に比べ12億97百万円（8.5%）の増益となりました。

また、前年第1四半期に発生した関西再編に関する特別損失の反動などにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は90億70百万円と前年同期に比べ10億23百万円（12.7%）の増益となりました。

## ◇ セグメント別の状況

[売上高の内訳]

(単位：百万円)

	前第2四半期 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)	当第2四半期 (自平成29年12月1日 至平成30年5月31日)	増減(金額)	増減(比率)
調味料	73,950	76,080	2,130	2.9%
タマゴ	49,937	49,588	△349	△0.7%
サラダ・惣菜	56,824	61,198	4,374	7.7%
加工食品	23,234	23,431	197	0.8%
ファインケミカル	5,096	4,798	△298	△5.8%
物流システム	64,203	67,000	2,797	4.4%
共通	3,939	2,906	△1,033	△26.2%
合計	277,186	285,004	7,818	2.8%

[営業利益の内訳]

(単位：百万円)

	前第2四半期 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)	当第2四半期 (自平成29年12月1日 至平成30年5月31日)	増減(金額)	増減(比率)
調味料	7,344	7,092	△252	△3.4%
タマゴ	2,033	3,072	1,039	51.1%
サラダ・惣菜	1,655	1,976	321	19.4%
加工食品	280	510	230	82.1%
ファインケミカル	136	267	131	96.3%
物流システム	2,888	2,618	△270	△9.3%
共通	452	424	△28	△6.2%
合計	14,791	15,961	1,170	7.9%

## 調味料

- ・海外でのドレッシングが好調に推移し増収
- ・野菜価格高騰の影響による国内売上の伸び悩み、減価償却費の増加などにより減益

## タマゴ

- ・国内の鶏卵相場下落の影響により減収
- ・米国の復調に加え、国内の付加価値品の伸張などにより増益

## サラダ・惣菜

- ・野菜価格高騰によるカット野菜の伸張、新たな販路への展開が進み増収
- ・新たな販路への展開やコスト改善が進展し増益

## 加工食品

- ・リニューアルしたパスタソース、まるごと果実などの伸張により増収
- ・付加価値品の伸張や不採算商品の見直しにより増益

## ファインケミカル

- ・医薬用E P Aの減少が影響し減収
- ・海外向けを中心に機能性ヒアルロン酸が伸張し増益

## 物流システム

- ・既存顧客の受託エリア拡大や連結子会社の増加により増収
- ・保管・運送の合理化は進展したが、燃料や車両の調達コストの増加により減益

## 共通

- ・食品メーカー向け製造機械の販売減少により減収減益

## (2) 財政状態に関する説明

## ◇総資産、負債、純資産の状況

- ・総資産は、4,285億61百万円と前連結会計年度末に比べ93億54百万円増加  
主に現金及び預金、受取手形及び売掛金、商品及び製品、土地の増加による
- ・負債は、1,572億67百万円と前連結会計年度末に比べ14億92百万円増加  
主に短期借入金、未払法人税等の増加、その他に含まれる設備未払金の減少による
- ・純資産は、2,712億94百万円と前連結会計年度末に比べ78億62百万円増加  
主に利益剰余金の増加による

## ◇キャッシュ・フローの状況

- ・現金及び現金同等物の残高は、422億87百万円と前連結会計年度末に比べ8億75百万円増加  
各キャッシュ・フローの状況  
営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費に加え、  
売上債権、たな卸資産の増加、法人税等の支払いなどにより175億37百万円の収入  
(前年同期は98億82百万円の収入)  
投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得などにより135億16百万円の支出  
(前年同期は217億17百万円の支出)  
財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いなどにより34億61百万円の支出  
(前年同期は195億44百万円の収入)

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しについては、個人消費の変化や主原料価格の変動など、当社グループにとって不透明な環境が続くものと思われます。

当社グループは、平成28年度からの3年間を対象とする中期経営計画の最終年度にあたり、グループの力を最大限に発揮して飛躍的な成長をめざすとともに、人材育成や環境保全・社会貢献など、経営基盤の強化に向けた取り組みを着実に進めてまいります。

そのような中、日本国内においては、食の変化やお客様のニーズをいち早くとらえた商品開発やメニュー提案により、グループ協働で売上を拡大させていきます。また、生産・販売・物流での効率化や生産技術の革新によるコスト競争力の向上も図り、利益創出力を高めてまいります。

海外につきましては、人口の増加や食の洋風化が進む中国や東南アジアを中心に、エリアのニーズを的確にとらえた提案で主力商品を伸張させるとともに、日本国内で築いた技術を活かした新たなカテゴリーを展開することで、売上拡大を進めてまいります。

なお、本年1月11日に公表しました平成30年11月期の連結業績予想につきまして、売上高と親会社株主に帰属する当期純利益は変更ありませんが、営業利益は5億円増の335億円、経常利益は5億円増の346億円に変更しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,618	30,994
受取手形及び売掛金	78,212	81,257
有価証券	12,000	11,500
商品及び製品	16,355	17,535
仕掛品	972	1,035
原材料及び貯蔵品	11,377	11,861
その他	8,016	9,037
貸倒引当金	△222	△290
流動資産合計	156,332	162,929
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	185,446	187,434
減価償却累計額	△104,416	△106,887
建物及び構築物（純額）	81,030	80,546
機械装置及び運搬具	170,766	173,226
減価償却累計額	△121,373	△123,010
機械装置及び運搬具（純額）	49,393	50,216
土地	49,820	50,970
建設仮勘定	4,571	5,150
その他	25,437	26,727
減価償却累計額	△15,505	△16,722
その他（純額）	9,931	10,004
有形固定資産合計	194,746	196,887
無形固定資産		
のれん	3,778	3,611
その他	4,580	4,477
無形固定資産合計	8,359	8,089
投資その他の資産		
投資有価証券	34,495	34,128
退職給付に係る資産	12,630	13,626
その他	12,825	13,083
貸倒引当金	△182	△184
投資その他の資産合計	59,769	60,654
固定資産合計	262,875	265,631
資産合計	419,207	428,561

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	48,008	48,177
短期借入金	8,037	9,851
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	4,005	5,849
引当金	2,854	4,648
その他	27,791	24,389
流動負債合計	90,697	102,916
固定負債		
社債	10,000	—
長期借入金	35,947	34,819
退職給付に係る負債	3,147	3,162
資産除去債務	1,120	1,124
その他	14,861	15,244
固定負債合計	65,077	54,350
負債合計	155,775	157,267
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,104	24,104
資本剰余金	29,425	29,425
利益剰余金	170,583	176,946
自己株式	△6,603	△6,605
株主資本合計	217,509	223,870
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,429	13,629
繰延ヘッジ損益	△3	△1
為替換算調整勘定	△1,141	△1,693
退職給付に係る調整累計額	△3,354	△2,768
その他の包括利益累計額合計	8,929	9,165
非支配株主持分	36,992	38,257
純資産合計	263,432	271,294
負債純資産合計	419,207	428,561

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年5月31日)
売上高	277,186	285,004
売上原価	213,885	218,871
売上総利益	63,301	66,132
販売費及び一般管理費	48,509	50,170
営業利益	14,791	15,961
営業外収益		
受取利息	35	35
受取配当金	304	292
持分法による投資利益	50	77
その他	571	573
営業外収益合計	962	978
営業外費用		
支払利息	174	172
開業費	137	—
為替差損	—	91
その他	196	131
営業外費用合計	507	396
経常利益	15,246	16,543
特別利益		
固定資産売却益	42	58
投資有価証券売却益	57	33
補助金収入	35	—
特別利益合計	136	92
特別損失		
固定資産除却損	691	402
減損損失	222	—
その他	67	147
特別損失合計	981	549
税金等調整前四半期純利益	14,401	16,086
法人税等	4,727	5,329
四半期純利益	9,673	10,757
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,626	1,686
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,047	9,070

（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成28年12月1日 至平成29年5月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成29年12月1日 至平成30年5月31日）
四半期純利益	9,673	10,757
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,153	182
繰延ヘッジ損益	△98	1
為替換算調整勘定	2,322	△584
退職給付に係る調整額	523	644
その他の包括利益合計	4,901	244
四半期包括利益	14,574	11,001
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,475	9,306
非支配株主に係る四半期包括利益	2,098	1,694

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	14,401	16,086
減価償却費	8,052	8,869
減損損失	222	—
のれん償却額	182	259
持分法による投資損益（△は益）	△50	△77
投資有価証券評価損益（△は益）	—	5
引当金の増減額（△は減少）	1,882	1,864
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	17	19
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△880	△996
受取利息及び受取配当金	△340	△328
支払利息	174	172
固定資産除売却損益（△は益）	652	393
売上債権の増減額（△は増加）	△3,961	△2,936
たな卸資産の増減額（△は増加）	△501	△1,807
仕入債務の増減額（△は減少）	488	360
その他	△3,211	△299
小計	17,128	21,587
利息及び配当金の受取額	347	333
利息の支払額	△156	△172
法人税等の支払額	△7,436	△4,210
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,882	17,537
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△15,528	△12,433
無形固定資産の取得による支出	△480	△512
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△82	—
投資有価証券の取得による支出	△884	△126
短期貸付金の純増減額（△は増加）	△181	△9
長期貸付けによる支出	△251	△146
長期貸付金の回収による収入	114	22
定期預金の預入による支出	△195	—
事業譲受による支出	△4,380	—
その他	152	△311
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,717	△13,516
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△464	1,672
長期借入れによる収入	25,400	—
長期借入金の返済による支出	△1,130	△1,109
配当金の支払額	△2,918	△2,720
非支配株主への配当金の支払額	△479	△347
自己株式の取得による支出	△2	△2
自己株式の売却による収入	1	—
その他	△861	△955
財務活動によるキャッシュ・フロー	19,544	△3,461
現金及び現金同等物に係る換算差額	571	△145
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	8,281	414
現金及び現金同等物の期首残高	40,790	41,411
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	461
現金及び現金同等物の四半期末残高	49,072	42,287

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、丘比（中国）有限公司を新規設立したため、連結の範囲に含めております。なお、同社は当社の特定子会社に該当しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年12月1日至平成29年5月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	調味料	タマゴ	サラダ・惣菜	加工食品	ファインケミカル	物流システム	共通	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
売上高										
外部顧客への売上高	73,950	49,937	56,824	23,234	5,096	64,203	3,939	277,186	—	277,186
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,685	3,078	117	1,094	189	13,353	5,842	27,361	△27,361	—
計	77,635	53,015	56,941	24,329	5,286	77,557	9,781	304,547	△27,361	277,186
セグメント利益	7,344	2,033	1,655	280	136	2,888	452	14,791	—	14,791

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結累計期間において、当社の連結子会社がMosso Kwaśniewscy Sp. J. から事業を譲り受けたことにより「調味料」でのれんを3,051百万円計上しております。なお、のれんは、取得価額の配分が完了していないため、入手可能な合理的情報に基づき暫定的に算定しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年12月1日至平成30年5月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	調味料	タマゴ	サラダ・惣菜	加工食品	ファインケミカル	物流システム	共通	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）
売上高										
外部顧客への売上高	76,080	49,588	61,198	23,431	4,798	67,000	2,906	285,004	—	285,004
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,658	2,245	55	1,052	160	15,342	6,014	27,529	△27,529	—
計	78,739	51,833	61,253	24,484	4,959	82,342	8,921	312,533	△27,529	285,004
セグメント利益	7,092	3,072	1,976	510	267	2,618	424	15,961	—	15,961

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

- 注) 1. 表示単位未満の端数は四捨五入にて表示しており、合計が合わない場合があります。  
 2. 本資料中の計画数値は、平成30年7月5日発表の数値を表示しております。  
 3. 平成28年11月期より、国内連結対象会社の減価償却の計算方法を定率法から定額法に変更しております。

## (1) 売上高・営業利益の状況と営業利益の増減要因

## 【売上高】

(単位：億円)

	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
28年11月期	調味料	340	378	718	378	1,096	345	1,441
	タマゴ	257	261	519	248	767	255	1,022
	サラダ・惣菜	260	281	541	288	829	289	1,118
	加工食品	120	136	257	125	381	131	513
	ファインケミカル	27	26	53	28	81	28	109
	物流システム	304	318	623	324	947	322	1,269
	共通	13	12	25	14	38	13	52
	合 計	1,321	1,413	2,734	1,405	4,139	1,384	5,523
29年11月期 (A)	調味料	343	397	740	393	1,132	372	1,504
	タマゴ	240	259	499	248	747	258	1,005
	サラダ・惣菜	275	293	568	298	867	288	1,155
	加工食品	110	123	232	120	352	114	466
	ファインケミカル	23	28	51	27	78	28	106
	物流システム	310	332	642	335	977	335	1,312
	共通	20	20	39	17	57	12	68
	合 計	1,321	1,451	2,772	1,438	4,210	1,407	5,617
30年11月期 (B)	調味料	360	401	761				1,570
	タマゴ	242	254	496				1,011
	サラダ・惣菜	300	312	612				1,230
	加工食品	109	125	234				470
	ファインケミカル	21	27	48				103
	物流システム	326	344	670				1,358
	共通	14	15	29				58
	合 計	1,372	1,478	2,850				5,800
前年差 (B-A)	調味料	17	5	21				66
	タマゴ	1	△ 5	△ 3				6
	サラダ・惣菜	25	19	44				75
	加工食品	△ 1	3	2				4
	ファインケミカル	△ 2	△ 1	△ 3				△ 3
	物流システム	16	12	28				46
	共通	△ 5	△ 5	△ 10				△ 10
	合 計	51	27	78				183

※平成30年11月期通期は、平成30年7月5日発表の計画数値を表示しております。

※第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

【営業利益】

(単位：億円)

	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
28年11月期	調味料	16	46	62	47	109	28	137
	タマゴ	15	17	32	14	46	9	55
	サラダ・惣菜	3	11	15	11	26	9	35
	加工食品	△ 2	5	3	3	6	△ 1	5
	ファインケミカル	2	4	6	3	9	1	10
	物流システム	9	12	21	14	35	14	49
	共通	0	2	3	2	4	3	8
	合 計	44	98	142	93	234	64	298
29年11月期 (A)	調味料	26	48	73	46	119	34	153
	タマゴ	10	10	20	13	33	11	44
	サラダ・惣菜	6	11	17	13	29	9	38
	加工食品	△ 1	3	3	3	6	△ 4	2
	ファインケミカル	△ 0	1	1	4	6	3	9
	物流システム	13	16	29	16	45	14	59
	共通	2	3	5	2	7	1	8
	合 計	56	92	148	96	244	69	313
30年11月期 (B)	調味料	26	45	71				150
	タマゴ	13	17	31				59
	サラダ・惣菜	6	14	20				44
	加工食品	1	4	5				6
	ファインケミカル	△ 0	3	3				10
	物流システム	8	18	26				58
	共通	2	2	4				8
	合 計	57	102	160				335
前年差 (B-A)	調味料	0	△ 3	△ 3				△ 3
	タマゴ	3	7	10				15
	サラダ・惣菜	1	3	3				6
	加工食品	2	1	2				4
	ファインケミカル	△ 0	2	1				1
	物流システム	△ 4	2	△ 3				△ 1
	共通	0	△ 1	△ 0				0
	合 計	1	10	12				22

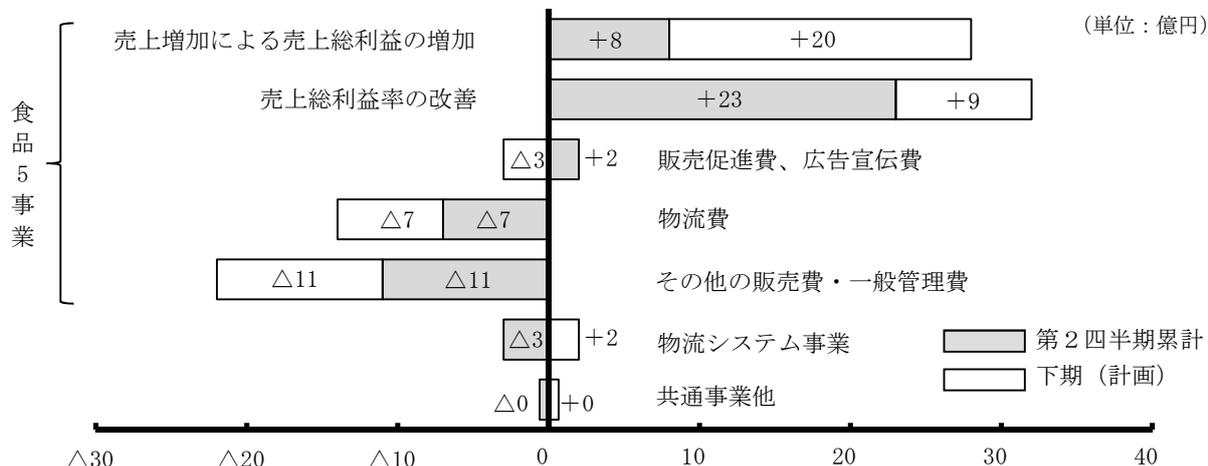
※平成30年11月期通期は、平成30年7月5日発表の計画数値を表示しております。

※第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

【営業利益：増減要因（前年差）】

(単位：億円)

	29年11月期 (A)	30年11月期 (B)	前年差 (B) - (A)
第2四半期累計	148	160	12
下期（計画）	165	175	11
通期	313	335	22



※下期（計画）の数値は、通期と第2四半期累計の差により算出しております。

(2) 設備投資と主要な販売費・一般管理費

(単位：億円)

	28年11月期 第2四半期累計	29年11月期 第2四半期累計 (A)	30年11月期 第2四半期累計 (B)	前年差 (B) - (A)	28年11月期	29年11月期	30年11月期 計画
設備投資	151	162	132	△ 30	330	272	350
減価償却費	103	81	89	8	183	168	183
販売促進費	17	19	19	△ 0	37	39	43
広告宣伝費	42	52	50	△ 2	87	95	92
物流費	125	127	135	7	250	258	272
労務費	145	155	162	7	298	313	327
研究開発費	18	19	19	0	40	41	42

※平成28年11月期第2四半期累計の減価償却費には、固定資産の償却方法の変更による残存簿価の一括償却28億円が含まれています。

(3) 国内におけるサラダ調味料の業態別販売量および金額（キユーピー株式会社）

		28年11月期 第2四半期累計	29年11月期 第2四半期累計 (A)	30年11月期 第2四半期累計 (B)	前年差 (B) - (A)	28年11月期	29年11月期
家庭用	販売量(千 t)	65	64	63	△ 1	126	128
	金額 (億円)	325	328	322	△ 5	639	650
業務用	販売量(千 t)	53	54	54	1	107	107
	金額 (億円)	204	203	207	4	413	409

## (4) 海外展開 売上高・営業利益の状況

## 【売上高】

(単位：億円)

		28年11月期 第2四半期累計	29年11月期 第2四半期累計 (A)	30年11月期 第2四半期累計 (B)	前年差 (B)－(A)	28年11月期	29年11月期	30年11月期 計画
中国		74	83	87	3	157	181	201
東南アジア		39	41	49	8	76	85	99
北米	調味料	30	32	32	1	63	67	64
	タマゴ	33	21	26	5	55	43	53
輸出・新規		15	21	34	13	27	50	64
合 計		192	197	227	30	378	427	481

※海外子会社の第2四半期の数値は10月から3月、通期の数値は10月から9月を対象としております。

※前年差の合計には、為替影響＋8億円が含まれております。

※「輸出・新規」には、主に日本からの輸出と欧州の各社の数値が含まれております。

## 【営業利益】

(単位：億円)

		28年11月期 第2四半期累計	29年11月期 第2四半期累計 (A)	30年11月期 第2四半期累計 (B)	前年差 (B)－(A)	28年11月期	29年11月期	30年11月期 計画
中国		9	9	8	△ 2	22	22	24
東南アジア		1	1	3	2	2	3	5
北米	調味料	2	2	2	△ 0	5	5	4
	タマゴ	5	△ 5	1	5	1	△ 9	1
輸出・新規		3	1	2	0	4	2	1
合 計		20	10	15	6	33	23	36

※海外子会社の第2四半期の数値は10月から3月、通期の数値は10月から9月を対象としております。

※前年差の合計には、為替影響＋0億円が含まれております。

※「輸出・新規」には、主に日本からの輸出と欧州の各社の数値が含まれております。

## (5) 営業外・特別損益の主な増減内容

(単位：億円)

	28年11月期 第2四半期累計	29年11月期 第2四半期累計 (A)	30年11月期 第2四半期累計 (B)	増減内容 (29年11月期 第2四半期累計対比) (B)－(A)	28年11月期	29年11月期	30年11月期 計画
営業外 損益	6	5	6	開業費の減少 + 1	15	13	11
特別 損益	△ 6	△ 8	△ 5	固定資産除却損の減少 + 3	△ 11	△ 17	△ 11

(6) 貸借対照表の概要、増減内容

(単位：億円)

	29年11月期 (A)	30年11月期 第2四半期(B)	増減 (B)－(A)	増減内容(29年11月期対比)
(資産の部)				
流動資産	1,563	1,629	66	現預金の増加 + 14 売掛債権の増加 + 30 たな卸資産の増加 + 17
固定資産				
有形・無形固定資産	2,031	2,050	19	取得による増加 + 104 減価償却による減少 △ 89
投資その他の資産	598	607	9	退職給付に係る資産の増加 + 10
(負債の部)				
	1,558	1,573	15	借入金の増加 + 7 未払法人税等の増加 + 18 引当金の増加 + 18 設備未払金の減少 △ 26
(純資産の部)				
	2,634	2,713	79	利益剰余金の増加 + 64 非支配株主持分の増加 + 13

(7) キャッシュ・フローの主な増減内容

(単位：億円)

	28年11月期 第2四半期累計	29年11月期 第2四半期累計 (A)	30年11月期 第2四半期累計 (B)	増減内容 (29年11月期 第2四半期累計対比) (B)－(A)	28年11月期	29年11月期
営業活動による キャッシュ・ フロー	163	99	175	税金等調整前四半期 純利益の増加 +17 未払費用の増加 +32 法人税等の支払額の減少 +32	453	272
投資活動による キャッシュ・ フロー	△ 144	△ 217	△ 135	有形固定資産の取得による 支出の減少 +31 事業譲受による支出の減少 +44	△ 320	△ 314
財務活動による キャッシュ・ フロー	△ 50	195	△ 35	借入れによる収入の減少 △232	△ 58	40

## (8) 主要な経営指標等の推移

	28年11月期 第2四半期累計	29年11月期 第2四半期累計	30年11月期 第2四半期累計	28年11月期	29年11月期
売上高（百万円）	273,422	277,186	285,004	552,306	561,688
営業利益（百万円）	14,161	14,791	15,961	29,818	31,261
売上高営業利益率（％）	5.2	5.3	5.6	5.4	5.6
経常利益（百万円）	14,782	15,246	16,543	31,364	32,511
売上高経常利益率（％）	5.4	5.5	5.8	5.7	5.8
四半期(当期)純利益（百万円）	8,182	8,047	9,070	17,093	18,099
売上高四半期(当期)純利益率（％）	3.0	2.9	3.2	3.1	3.2
純資産額（百万円）	245,626	257,208	271,294	245,861	263,432
総資産額（百万円）	377,712	414,845	428,561	385,914	419,207
自己資本比率（％）	56.4	53.6	54.4	55.1	54.0
営業活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	16,253	9,882	17,537	45,260	27,234
投資活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	△ 14,357	△ 21,717	△ 13,516	△ 32,046	△ 31,421
財務活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	△ 5,012	19,544	△ 3,461	△ 5,805	4,010
フリーキャッシュ・フロー （営業CF+投資CF）（百万円）	1,896	△ 11,835	4,021	13,213	△ 4,186
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高(百万円)	31,134	49,072	42,287	40,790	41,411
有利子負債（百万円）	33,920	60,993	61,046	36,066	60,120
1株当たり純資産額（円）	1,423.57	1,469.76	1,584.81	1,420.63	1,539.94
1株当たり四半期(当期)純利益（円）	54.02	53.69	61.69	113.47	121.05
1株当たりフリーキャッシュ・フロー（円）	12.52	△ 78.96	27.35	87.72	△ 28.00
1株当たり第2四半期(年間)配当額（円）	15.0	18.0	19.0	34.5	36.5
第2四半期末(期末)株価（円）	2,975	2,890	2,631	2,703	2,885

※売上高には、消費税等は含めておりません。

※この表における 四半期（当期）純利益は、親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益になります。